

【教育目標】創造・自律・共生 令和7年度重点目標：互いを認め合い、ともに輝く生徒

原一中だより

「スマホ・ゲーム正しく使っていますか？」

防犯訓練の際に南相馬警察署の補導員の方から上の題でお話をいただきました。

1 あなたならどうする？

クラスのグループチャットで会話している中で、心無いことを書き込んだ友達にどう対応するか？という課題が出されました。

- ①そんなこという人がヤバい。とチャットする
- ②個別のラインで注意する
- ③翌日、学校で注意する
- ④グループラインから外す
- ⑤何もない

生徒も拳手しながら参加していましたが、答えは…どの番号かは決めなくてもOKのこと。ただし、その後、どうなるかを考えてみることが大事とのことでした。

つまり、書き込んでからでは手遅れ。書き込む直前に、これをしたらどうなるか？どう思われるか。一步立ち止まって考える習慣を身に着けさせることが大事なのだと思います。

2 ルールは決まっていますか。守っていますか。

「自分さえよければいい、という世の中にならないためにルールが決められている。」また、「ルールを守ることが、自分と相手を守ることにつながる。」というお話がありました。

まずは、家庭の中で、スマホやゲームを使う際のルールを決める。次に守る。守れないなら使わない。これを徹底していくことが大切です。

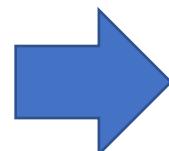
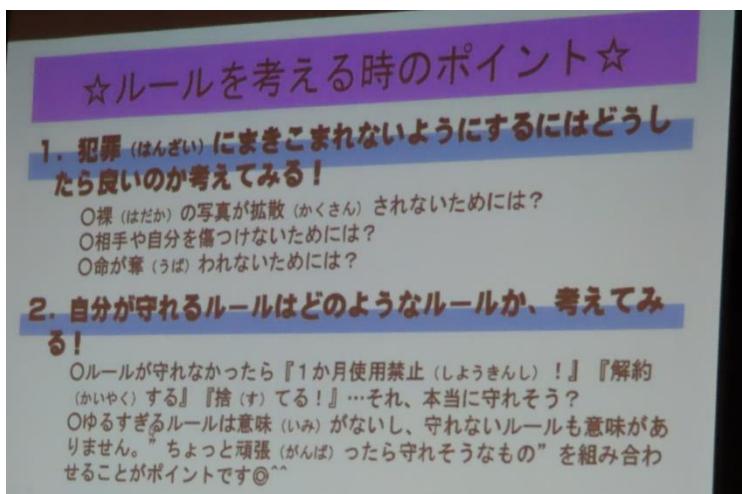
スマホやゲームは、使い方を間違えると、中学生でも右図のような犯罪を犯してしまうことになります。

これらは、すでに犯罪の域であり、学校の指導の範疇を超える部分です。もし、被害にあわれていることが分かれば、警察に相談していただくことになります。

使い方を間違えると…		
(めいよきそん) 名誉毀損	(ぶじょくざい) 侮辱罪	(ぎょうむぼうがい) 業務妨害
(しょうぞうけん) 肖像権	(めいよきそん) 名誉毀損	リベンジポルノ
児童ポルノ	ストーカー	誘拐(ゆうかい)
殺人事件(さつじんじけん)		

3 ルールを決める際のポイント

提示していただいたスライドを参考に、ご家庭で実態に合ったルール作りができているか、確認（見直し）をお願いします。



1 使う時間 例：午後9時まで
2 使う場所 例：リビング
3 使っていいとき 例：宿題が終わってから
4 課金関係 例：お小遣いの範囲内
5 そのほか 例：IDやパスワードを他人に教えない、ボイスチャットはオフ
6 ルールを守れなかった時にどうするか 例：1日没収、次の日まで使えない

スマホ、ゲームの使用に関しては、ご家庭の責任による部分かと思います。短時間の講話ではありましたが、保護者の皆様にもぜひ聞いていただきたい内容でした。(お子さんとの共有が大事だと思います。) 南相馬警察署の皆様ありがとうございました。